

資料3 日進市男女平等推進状況報告書（令和4年度）に対する事前意見一覧

意見番号	施策NO.	箇所	ご質問・ご意見	回答	担当課
1	1 2 3	小中および子ども（保育）	高校や大学への遡及がない。または記載がない。	広報紙やホームページ、イベント時のブース展示等を通して高校生や大学生へも人権意識を醸成してまいります。	市民協働課
2	3	分析評価	分析評価内容に至った、具体的な資料を追記してください。	ある学校の人権講話では、元男性でありながら、女性として結婚をしたコミュニケーション講師を招いて開催した。教科書ではなくリアルな現場から学んだコミュニケーションノウハウ、伝え方のマインドを軸に自分とのコミュニケーションの取り方や相手に喜ばれるコミュニケーションの大切さ等の話を聞いた。生徒は講話を通して相手を尊重するコミュニケーションの仕方を学ぶことができたなど、感想を述べている。	学校教育課
3	3	全体	「性別にかかわらず」というジェンダー視点からの人権課題にどのように取り組んだのか、また取り組む予定なのか、記載されていない。ちなみに、基本目標・施策の方向・具体的な取り組みが全く同じでも、施策4の子ども課では、「男女平等」に関する内容が記載されている。		学校教育課
4	4	対象（保育士）の人数が限定される	対象をもっと増やして対応できるような方策。例えば同年齢位の子どもを対象とする幼稚園教諭とか、保育園、幼稚園の保護者を交えたものにするなど。	参加可能な研修があった際には周知してまいります。	子ども課
5	4	分析評価	「男女平等の意識向上に繋がり、男女平等を意識した保育業務に繋げることができた。」とあるが、参加者の感想や、業務の変化の具体例があると、尚良いと思います。	参加者の感想等は報告書において確認しています。	子ども課
6	5	実績	「令和3年度に実施した無意識の思い込みに関する調査結果」とは、「名古屋外国語大学と連携し、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）のアンケート調査」のことかと思えます。内閣府が実施した調査もあるので、日進市独自の取組であることを明記した方がよいと思います。	「名古屋外国語と連携して」を追記し、市の取組であることを強調します。	市民協働課
7	7	分析評価	「表現指針について各課等から相談がくるケースが増えてきた」のは、各担当のジェンダー問題への関心が深まったからと捉えて良いでしょうか？	担当としても、そう捉えています。	市民協働課
8	8	一定の効果があったものとする	後方の後の反応は？・・・「一定の効果があったものとする」数値がないので図ることができない。PVやアンケートなどに感想欄を設ける。	ホームページ内「広報につしん」のページにおいて「記事に関するお問い合わせ先」として意見、質問を受け付けています。過去に記事内イラストの着衣、配色の配慮について肯定的な意見をいただいたことがあります。	情報広報課
9	8	分析評価	分析評価内容に至った、具体的な資料を追記してください。例えば、施策No.8「市民意識調査」結果から、前回調査と比較して〇〇の年齢層で変化が見られたなど。	市民意識調査の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についての項目で、「反対」・「どちらかといえば反対」と回答した市民の割合が、52.1%（R2）から57.5%（R4）となっており、広報紙やホームページも性別に対する固定的な意識の解消に寄与したものと考えています。	情報広報課
10	9	実績・予定	研修対象を、新規採用職員とともに、主任級に広げた点が評価できる。さらに、管理職を対象を広げてほしい。	—	市民協働課
11	9 10	部・課内研修	部・課内研修だけでなく市役所全体の研修を行うのは？	全般的な研修は人事課が担っていますが、各具体的な研修については各課等で実施しています。	市民協働課 人事課

意見番号	施策NO.	箇所	ご質問・ご意見	回答	担当課
12	11	分析評価	「男女別データの必要性について説明ができた」は評価したい。ジェンダー統計の必要性と、不必要な性別欄の記載をなくしていくことの、両方を視野に入れた取り組みを、今後も進めて欲しい。	—	市民協働課
13	13	分析評価	「意識向上につながった」とあるが、参加者数や、参加者の感想など、具体性があると尚良いと思います。	学校における男女共同参画研修～女性の管理職登用の促進に向けて～では、オンデマンド研修なので、正確な参加者数は分からないが、ある参加者から伺った感想は、女性の意思決定過程への参画の意義・必要性について改めて大切だと思ったと述べている。	学校教育課
14	13	実績	どれくらいの人数の教職員が研修に参加されたでしょうか。		学校教育課
15	14	分析評価	「教職員向けの「無意識の思い込み」に関する研修」こそ必要と考えます。「案合」とは？	引き続き、教職員向けの研修も大切であって、そういった研修をモデル校事業の予算で実施しても良い旨を説明していきます。 案合→案内に修正します。	市民協働課
16		実績	教職員へのアンコンシャスバイアス研修は、施策13で担保されているということでもいいでしょうか。	モデル校事業の予算内で、日進市の学校独自で教職員向け研修が実施できます。	
17	15	実績	ブレザー制服の導入を評価します。	—	学校教育課
18			中学の制服にスラックスを新設したことは良かったと考える。	—	
19	16	分析評価	「人権全般をテーマにした取り組みに比重が偏るため、ジェンダー平等についての取り組みも一層推進していただけるよう、モデル校へ説明していきたい。」に同感です。	—	市民協働課
20	17	分析評価	脱字ではないでしょうか。 「……、性別による分けを……」→「……、性別による色分けを……」	色分けに限っていないため、「分け」と表記しています。	こども課
21	17	分析評価	「性別による色分け、並び方等の男女のすみ分けを行わない保育の実施により、園児の意識形成に寄与した」。大変心強いです。	—	こども課
22	18	生涯学習の性別偏重	生涯学習において寿命が延びていることもあり、よりテーマを増やし特に性別偏重にならないようなものを選択して開催するという努力が見受けられる。	—	学び支援課
23	18	分析評価	どのような講座が開催されたのか、参加者人数、参加者の感想など、記載に具体性がほしいです。	市民企画講座や大学連携講座、キャリア教育講座等幅広く講座を開催しています。数が多く、抜粋が難しいため、一例となりますが、小学4年生～6年生を対象として実施している日進市少年少女発明クラブ事業は、参加者人数100名（男性57名、女性43名）となっています。	学び支援課
24	20	実績	相談件数と、その内容は？ 公表できる範囲でよいので。	スクールカウンセラーの相談件数 1,514件 スクールソーシャルワーカーの相談件数 575件 内容は不登校や発達障害に関するものから友人関係、家庭環境など様々である。	学校教育課
25			まだまだ低い状況のため、今後の登用率アップを是非期待したいです。		

意見番号	施策NO.	箇所	ご質問・ご意見	回答	担当課
26	22	実績	子育て、福祉、介護等以外のものはまだまだ低い状況のものが多いため、今後の登用率アップを是非期待したいです。とくに、市総合戦略、防災、環境基本計画、空家等対策、都市計画など、ますます重要性が高まって行くだろう分野については、是非登用率アップをお願いしたいです。	まずは40%を目指し、各課等へ理解を求めていきます。	市民協働課
27	24	実績	数値の実績が停滞しているのは何故ですか？	性別にかかわらず、適材適所で管理職や各種主任を登用している結果である。管理職や各種主任の業務が多岐に渡り、膨大になっているため、管理職等を拒んでいる教師がいることは事実である。	学校教育課
28	25	自治会	自治会の区長および委員にはほとんど女性が見受けられない。女性の参画を図るべき。また、毎年持ち上り方式の選択のため多くの方が〇での意見表明を行っていると思いますが、もう少し人選の範囲を広げていただきたい。	なり手不足の自治体が多く、日頃から自治会運営に携わる女性が少ないため、声をかけることが難しい現状がある。まずは長以外から自治会へ携わる女性の人数を増やしていく必要がある。	市民協働課
29	25	実績	数値が伸びた背景はなんでしょうか？	過去から自治会運営に携わって来られてきた方が区長・自治会長となるタイミングだった。次年度の報告書の数値は下がる予定で、年度により数値は上下する。	市民協働課
30	27	予定	男女共同参画の書籍を交流館1階に設置するのを評価したい。	にぎわい交流館と調整していきたいと思います。	市民協働課
31	28	女性のための各種セミナー	今後もよろしくお願ひいたします。	—	産業振興課
32	29	分析評価	記載が具体的で、取り組み自体も有意義だと思う。	—	市民協働課
33	31	実績	取組自体は評価できますが、近隣の大学とは連携していないのでしょうか？	近隣大学からの依頼がないのが現状です。	市民協働課
34	32	男女雇用機会均等法	市商工会で経営層への遡及が必要。特に中小企業においては男性偏重型になっているため。	愛知県主催のセミナー等、市商工会へも積極的に情報提供を行ってまいります。	産業振興課
35	33	実績	利用者を増やすためにも情報コーナーの場所は移動できないものでしょうか。	にぎわい交流館1階にも関連図書を置くことを現在検討中です。	市民協働課
36	34 35 36 37	保護者の性別にかかわらず・・・等	男性の家事参画講座は良い企画だと考える。60歳～40歳位までの年齢層は昔の考え方の両親に育てられてきているため「男は男らしく、女は女らしく」といった古い観念だったため「男子厨房に入らず」などという言葉もあった。現在年齢が30歳台位からはそうした考え方も忘れ去られてきており男性の育児参加なども積極的に行うことが普通といった考え方に代わっているので、是非多くの講座を開催して男性の家事参加を促していただきたい。	—	市民協働課 健康課 子育て支援課 財務政策課
37	35	実績／分析評価	今後も、対面だけでなくオンラインでの参加が可能な教室を継続することを期待いたします。	—	健康課
38	35	実績	感染状況に応じてオンライン配信するなど、状況に応じた取り組みを評価します。	—	市民協働課
39	37	授乳室	「授乳室」の表記は男性は入りづらいと思われるので、新しいネーミングをつけられたいかでしょうか？	検討していきます。	財務政策課
40	38	実績	係長級の女性割合が低下傾向なのはなぜですか？「③ 在宅勤務や時差勤務の本格運用」で、より働きやすい職場となるよう期待しています。	係長級の女性割合が減少したのは、当年度に課長補佐級に昇任した女性職員が4名いたことによるもので、一過性のものであると考えます。併せて、係長級への昇任に必要な職資格試験に関しても、当年度から手法を改め負担軽減を図り、昇任を含め働き続けやすい職場づくりにつとめます。	人事課

意見 番号	施策 NO.	箇所	ご質問・ご意見	回答	担当課
41	39	実績	内容的に、男女平等推進の報告書に記載することかちよつと疑問です…。	子育てと仕事の両立支援のため、既存施設の改修・拡充を行うものです。	子ども課
42	40	実績	児童クラブの待機児童はいませんか？	令和5年度放課後児童クラブの待機児童について、民間児童クラブにおいて3名です。待機者へは放課後子ども教室の利用案内や他の民間児童クラブへの空き状況をウェブ等で掲載しております。	子育て支援課
43	42	実績	介護講座の男性の参加者の割合が激減していますが、なぜでしょう？	令和4年度は講座の参加者数が増加したことにより、男性参加者はあったものの相対的に割合が減少したことが理由です。いずれの講座においても継続して男女ともに参加がありますので、引き続きジェンダー関係なくご参加いただけるような講座内容の企画及び周知に努めてまいります。	地域福祉課
44	43	実績	男性の育休取得・特別休暇取得、ともに数値が伸びていて評価できます。それだけに、指摘されている「代替職員」「残された職員へのフォロー」に期待します。	—	人事課
45			育休取得率の大幅アップは素晴らしいですが、実際の取得人数や期間も教えていただければと思います。	令和4年度に育児休業を取得した男性は9名で、平均取得期間は約2.8か月です。最長で6か月、最短で2週間になります。	
46	44	職業生活において活躍できる…	「ジェンダー」や「男女平等」といった機運が高いうちに一気に進めていただきたい。	—	産業振興課
47	47	実績	360時間以上の時間外勤務を行う職員が増えています。マイナンバーなどの事業によるとは言え、他の部署からの応援とか、解決策を模索してほしいです。	時間外勤務に対する対応としては、昨年度もマイナンバー事業等で他部署からの応援体制を構築してまいりました。今年度あらためて、応援体制に関する制度を構築し、運用を開始しております。併せて、時間外勤務の多い部署に関して所属長への聞き取りを実施するなど、抑制に努めてまいります。	人事課
48	51	実績	「AIによる最適勧奨時期の分析結果を活用しEmail勧奨」とは、具体的にどのようなことですか？ 新たなツールの導入を評価します。	特定健診受診データ等を人工知能で分析する委託業者の特許技術により、対象者個人ごとの受診確率・反応確率・健康意識等を明らかにする分析（例 受診しやすい月、案内通知を開封する曜日・時間帯等）を行い、その結果をもとに対象者の行動変容を促せる最適な受診勧奨のタイミングでEmail勧奨を実施しました。	保険年金課
49	52	全体	大学連携が実現し、啓発物も作成できたことを評価します。是非、活用して下さい。	—	市民協働課
50	53	分析評価	「適切に性教育を行うことができた」とのことですが、具体例を記載してほしい。	小学校では、学級担任が養護教諭と協力して、ヘルピータイムを設定し、「大切なプライベートゾーン」など、適切に実施した。中学校では、学習指導要領に沿って、保健体育の授業を行った。また、「いのちの教育」の実践を通して、性教育を実施した。	学校教育課
51	54	分析評価	令和3年は高校生で、令和4年は中学生を対象にできたことを評価します。	—	市民協働課
52	54 66	DV 広報等での啓発…等	DVについては愛知警察署と共同で大学等で行ったほうが訴求力があると考える。	DV・性暴力の相談先について、警察の相談先もホームページ等で案内するようにしています。	市民協働課

意見 番号	施策 NO.	箇所	ご質問・ご意見	回答	担当課
53	58	ジェンダーの認識	研修会をこども課と共同で行い保育士にも参加してもらう。	研修会の目的が、高齢者支援を行う専門職向けに必要な知識習得を促すものであり、支援の対象となる高齢者のジェンダー関係なく支援ができるよう引き続き研修内容等に留意してまいります。	地域福祉課
54	60	分析評価	令和5年度の予定に記載があるように、福祉相談係への女性職員の配置を、人事部に重ねて強く伝え続けることを願います。	—	地域福祉課
55	61	全体	現状を良く把握しているように思います。種々の事業を展開し、男性の参加を促していることも理解できます。男性割合の増加を期待します。	—	福祉会館
56	62	全体	女性リーダーを増やすための取組が少しずつ広がっているのが理解できました。新たに設置された女性消防団員にも期待します。	—	防災交通課
57	66	実績	54に記載したように、中学生を対象にパンフを配布したことを評価します。	—	市民協働課
58	70	実績・分析評価	女性が被害者であった割合の増加を把握し、体制を整えている。今後も継続してきめ細かい対応を期待します。	—	地域福祉課
59	74	実績・分析評価	「相談から、民間のDV 被害者支援団体につなげた事例」から、よりきめ細かい体制づくりへと動いていることを評価します。	—	市民協働課
60	全体1		市主催の催事での報告は人数等の数値を示すとわかりやすいと考える。	分析に資するデータにつきましては、記載をしていきます。	
61	全体2		大学との協働は市対個別ゼミで行われ深堀されることが多いようだが、大学の学生課などを通して大人数での開催を検討するべき。現段階では「大学との協働」という文言が使用されているが、何人に遡及したのかわからない。例：5000人規模の学生数でゼミでの協働であれば20～30名への遡及となり30名としても6%だけとなる。 また、大学学生課等への働きかけは、担当部署を設置して行ったほうが、大学側も受け入れやすくなる。（大学は様々な役所や、またその中の部署ごとに来訪されると時間が取りにくくなるため）	大学連携事業は、人数としての遡及ではなく、大学の知的財産等との協働事業となります。 新規の連携事業については、市の大学連携担当である市民協働課から、各大学の連携窓口の部署を通して依頼しております。 その結果、大学側の判断でゼミ単位で事業を行うことが多くあります。	